

が出てゐる、これに依るとやゝ落付いたかの感があるがそれは決して労働者階級の生活安定を意味しない。それはインフレーションとも、益々進行する産業合理化、軍需工業に流れ込む臨時工の増加は熟練労働者の賃銀を輕工業労働者の低賃銀並に引下げることとなり、物價の値上り、やがてやつて来る大きな爆發的恐慌と相俟つて大衆的罷業の危機をいよゝ強く孕みつゝある。

五、消費組合運動促進の狀態は、昨年度大會に於ける報告から更に飛躍して二つの地域的消費組合の誕生を見た。一つは大坂金船港南支部聯合會を中心として、大衆黨大正區支部の有志、一般労働者市民の参加よりなる港南消費組合、一つは大坂都府港灣支部聯合會を中心として、大衆黨港區支部有志及び労働者一般市民の参加せるミナト消費組合はそれゝ昭和八年七月、九年四月事業を開始して、好成績を擧げてゐる。大會決定に従つて事業部主催で大阪運輸交通消費組合、南方小島購買組合、港南、ミナト消費組合その他各支部購買部の代表者を集めて懇談會を開いたが、部分的に共同購入が行はれてゐる程度で、ガツチリした組織は今のところ持たれてゐない、異常に昂まりつゝある消費組合に對する關心は近く大會決定を完全に生かすであらう。

六、資本家地主のための競争反對、並に日ソ不可侵條約締結促進に對する闘争は、大衆黨及び組合會議を通じて國際平和のための運動に参加した。組織内部に於ては特に最近の日ソ關係悪化、及び國防演習に關する研究、暴露等を行つた。防空團員の日給資本家全額負擔、兵役應募者の就職國家保證、出征家族の生活費國庫負擔等、労働組合の立場から要求した。この闘争はより以上今後にあるといへる。

七、労働立法並に制定に對する闘争は組合會議及び社會大衆黨を通じて行つた。いわゆるソナル・ダンピングはわが國労働者が低賃銀、長時間労働に對し直接資本家階級に反對の闘争を飽くまで遂行しなければならぬ事は勿論であるが、先進資本主義國家の労働立法、社會立法その他社會政策のそれを見るとき、この闘争の意義は決して過少評價されてはならない。自由主義的な運動に進而參加協力の實を示し、未組織への影響力擴大の方針が取らるべきである。全國産業團體聯合會の陰謀になる日本團體生命保險の粉砕、國營保險實施要求のカンパは精力的に遂行されてはならない。

八、暴壓諸法令撤廢の闘争、今では自由主義的な運動のゆとりさへもない。專制的な支配が草の根、石を除いてま

で追善の魔手を延ばしてゐる。労働争議調停法、治安維持法の改悪その他言論、集會、出版、上演、上映、結社の自由さへ非合法的に取締られてゐる。こゝにも七に述べたと同様な事が言ひ得られるのではない。

二、メーデー闘争概況

本年のメーデーは組合會議大會におけるメーデーに關する決議に基づいて、日本労働組合會議在阪労働團體が主唱者となり、全大阪の各無産團體を糾合して盛んなる示威を行ひ、過去における各組合間の混戦の一切は清算され、眞に労働者の一致團結したる對資本の闘争が行はれた。

吾が聯合會においては、メーデー對策委員會を設け全市全工場に宣傳闘争が或は傳單に、或は茶話會に、演說會によつて行ひ、當日は一千七百二十名の動員をなした。本年度においても吾が全勞の動員は第一位の動員をなし、大阪における吾が全勞の地位を明かに示めたのである。然し乍ら昨年度よりは四百六十名の減少を見たことは甚だ遺憾とするところであるが、メーデー全動員の全體的減少の上より見るときは其のことは今日の政治的社會的經濟的状況の上から來たるものであることも、合せて深く考察すべきであらう。

三、労働組合戦線統一運動に就て

過去一ケ年の労働運動を顧みるとき、全國産業團體聯合會によつて統制される資本家の對労働政策が著しく整備され、その反動的系統を現し、一切の社會政策、労働立法の改廢、制定に反對して労働運動の開拓の途を阻止すると共に、自ら御用組合主義に依り大工場、大企業を抑へ、労働組合の進出を妨止し、凡ゆる争議を意識的、計劃的に妨害して來た。

この反動の重壓下に本流的労働組合戦線の統一強化が促進せられて來た。その具體的現れとして、總評、統一會議を中心とする所謂左翼戦線の統一と、日本労働組合會議を中心としての統一運動の二つを見る事が出来るが、左翼？戦線の統一には政治運動の活動機關である政黨との關係がなく、その組織範圍も分段的な小組合であつて、反組合會議派に局限せられたものである關係上、その組織と方針の上より見て我が國に於ける労働運動の主流たり得ないものである。

我が大阪聯合會は同盟第三回大會の統一方針に基き、日本労働組合會議の擴大強化と、内部に於ける産業別整理合